

特定健診・後期高齢者医療健康診査

通院のついでに 手軽にできる!



検査にかかる費用

約8,500円かかる検査が

0円(※)

※国民健康保険特定健診対象者 または 後期高齢者医療健康診査対象者の場合

がん検診

受けていますか? 定期的な健康チェック

市の補助があるから、 自己負担も最小限!



胃がん
(バリウム)
1,500円

大腸がん
500円

肺がん
1,000円

乳がん
(マンモ)
1,800円

子宮がん
1,200円

※ 受診日当日70歳以上の方は、各がん検診を500円で実施できます

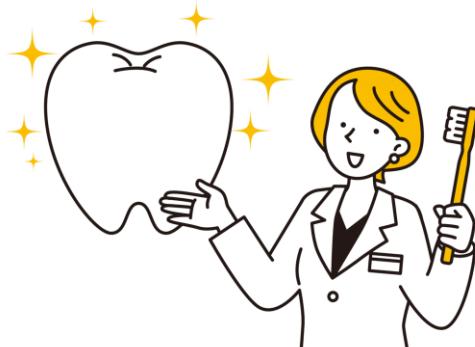
歯周病検診

かかりつけ歯科医院で受けましょう

失って後悔したものの1位「歯」(※)

歯周病検診で大事な歯を守りましょう

むし歯



歯周病

※出典:2017年「歯並びと歯の残存指数に関する意識調査」インビザラインジャパン調べ

北名古屋市

西名古屋医師会・西春日井歯科医師会・西春日井薬剤師会

特定健診+がん検診+歯周病検診

いつものかかりつけで受ければさらに安心!



特定健診は「メタボの健診」だけじゃありません！

慢性腎臓病の早期治療にもつながります

慢性腎臓病(CKD)は慢性的に腎臓の機能(腎機能)が低下していく病気で、自覚症状が現れにくく、気づいた時には重症になっていることも少なくありません。しかし特定健診や後期高齢者医療健康診査で行う検査では、慢性腎臓病の重症度がわかるため、早期の治療につなげることができます。

慢性腎臓病 (CKD)とは

①腎臓の障害がある

たんぱく尿や微量アルブミン尿などの尿異常や、血液検査や画像診断、病理で腎障害の存在が明らかである

①と②のいずれか、あるいは両方が3か月以上続く状態

②糸球体濾過量 (GFR)が低下している

GFRが60 ml/分/1.73m² 未満である

慢性腎臓病 (CKD)の進行とリスク因子

腎機能は健康な人でも加齢に伴い少しずつ低下します。しかし、**糖尿病**や**高血圧**、**脂質異常症**、**肥満**があると急速に低下します。

糖尿病

高血圧症

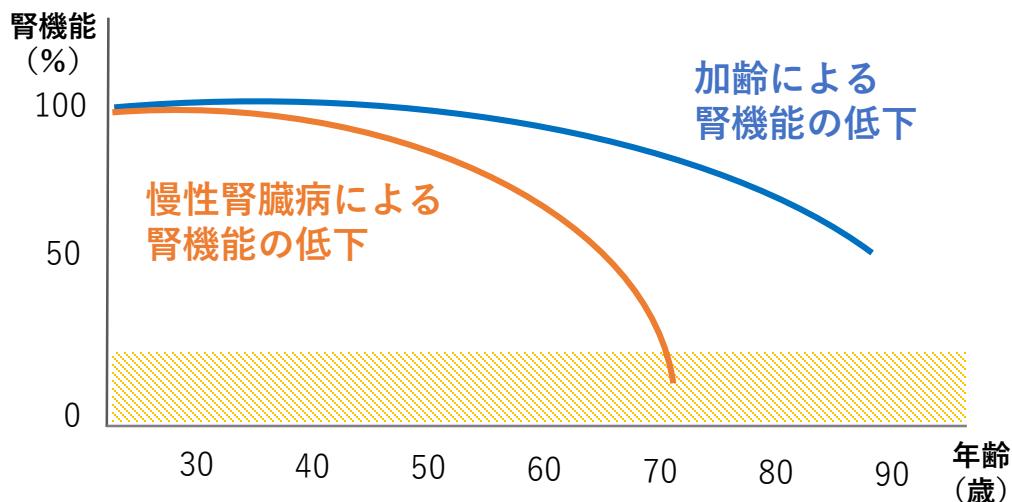
脂質異常症

肥満

これらの生活習慣病が重症化することで慢性腎臓病が進行し、最終的に腎臓が正常に働かなくなって腎不全に陥ると、人工透析や腎移植が必要な状態になります。

慢性腎臓病

慢性腎臓病 (CKD) による腎機能低下のイメージ



一度失われた腎機能は、元の状態に戻ることはできません。しかし、リスク因子となっている生活習慣病を改善させることにより、慢性腎臓病の進行を抑えることが可能です。

慢性腎臓病 (CKD)の検査

●尿たんぱく

腎臓病のリスク	結果	判定
	(-)	異常なし
	(±)	要再検査
	(+) 以上	医療機関受診

●eGFR (推算糸球体濾過量)

腎臓病の重症度	eGFR値	判定
	90以上	正常または高値
	60~89	正常または軽度低下
	45~59	軽度~中程度低下
	30~44	中程度~高度低下
	15~29	高度低下
	15未満	末期腎不全

●クレアチニン

たんぱく質の代謝によって生じた血液中の老廃物で、腎臓が正常に働いている場合は、ほぼ全て尿中に排泄されることからこの値が高いと腎機能の低下が疑われます

慢性腎臓病 予防と改善のポイント

食塩をとり過ぎない 脂っこい料理を控える

野菜・海藻類・きのこ類を積極的に食べる

肥満があれば減量を。食べ過ぎに注意する

ウォーキングなどの軽い運動を習慣的に行う

喫煙は悪化要因。きっぱり禁煙する

お酒を飲み過ぎない。週2回以上の休肝日を

健診予約日

日にち

時間

医療機関名

月 日 時 分